

IV 生涯を通じた健康づくりと福祉の充実

1 生涯を通じた健康づくり

① 女性の健康診査の充実

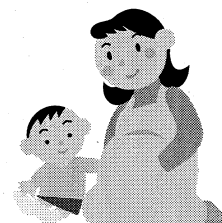
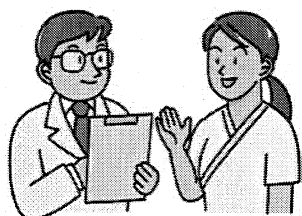
「健康日本21あぐい計画」が策定され、健康づくりに対する指針が示されました。男女が心身ともに健康であることは、男女共同参画社会を形成していくうえで重要な要件です。

女性が検診をより受けやすくする体制を確保することで健康づくりに対する環境整備を図り、スポーツ教室を拡大するなど健康増進に努めます。

受診状況

年度	子宮ガン検診(20歳以上)			乳がん検診(40歳以上)		
	対象者(人)	受診者(人)	受診率	対象者(人)	受診者(人)	受診率
平成20年度	3,338	514	15.4%	2,208	521	23.6%
平成21年度	3,351	857	25.6%	2,231	803	36.0%
平成22年度	3,372	894	26.5%	2,252	786	34.9%

(阿久比町主要施策の成果報告書より)



② 女性のライフ・サイクルを通じた支援

女性は、初潮、妊娠、出産、閉経など男性とは異なったライフ・サイクル^{※7}の中で、身体が大きく変化する時期があります。女性ならではの特性を配慮し、年齢に応じた健康づくりに関する情報を提供します。

また、妊娠・出産について健康診査の機会を提供し、健康の保持・増進を図ります。

年度	内容	受診者数(延べ人数)		
		母子健康手帳	妊婦健康診査	乳児健康診査
平成20年度		202	1,018	343
平成21年度		243	2,471	357
平成22年度		260	2,872	434



(阿久比町主要施策の成果報告書より)

※7 参考資料P1参照

具体的施策	内容
母子保健の充実	妊産婦、乳幼児健康診査の充実や子育てにかかる相談体制の強化を図ります。
医療機関との連携強化	保健・福祉と医療機関の連携強化を図り、医療体制の充実を図ります。

2 生涯を通じた福祉の充実

① 高齢者・障がい者・ひとり親世帯への支援

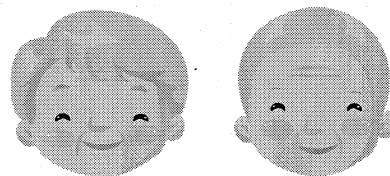
超高齢化社会に対する不安を解消し、高齢者や障がい者、ひとり親世帯が生きがいをもって自立した生活を送ることができるような環境整備を図ります。

高齢者や障がい者に対して、ノーマライゼーション^{※8}の理念を重んじるとともに、介護が求められやすい福祉サービスを充実させ、各制度の情報提供に努め、より安定した生活を送ることができるような相談・支援体制をつくります。

また、ひとり親世帯の自立と安定した家庭生活を送るため充実した相談体制を図ります。

また、ひとり親世帯では、生計の維持と家事に加え、育児もひとりで担うことから、経済的にも精神的にも様々な不安や問題を抱えている人が少なくありません。

経済的な自立や、家事・育児などの生活上の問題解消のための支援が必要です。



② 次世代育成の支援

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など子育てをめぐる環境が著しく変化する中で、次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ育てられる社会の形成が必要です。就労家庭や地域において、子どもを育てやすい環境を支援します。

具体的施策	内容
公共施設などのバリアフリー化の推進	高齢者や障がい者などが利用しやすい公共施設や道路整備を進め、バリアフリー化、 <u>ユニバーサルデザイン</u> ^{※9} のまちづくりに努めます。
相談体制の充実	高齢者、障がい者、ひとり親世帯者に対して情報提供と相談支援体制の充実を図ります。

※8・9 参考資料 P1 参照

V 計画の推進

1 推進体制の整備と充実

① 男女共同参画プランの推進

男女共同参画社会基本法に基づき、家庭・学校・職場・地域そして社会において、男女共同参画社会の形成・実現に向けて取り組むべき施策は数多くあります。

平成20年10月には、男女共同参画会議基本問題専門委員会より、「地域における男女共同参画推進の今後のあり方」について示されました。

阿久比町においても、「阿久比町男女共同参画プラン」を推進し、関係機関及び関係部署と連絡・調整を行い体制を強化しつつ、一方、町が実施する男女共同参画の推進に関する施策に対し、町民や団体との協力と連携を図りながら、男女共同参画社会の早期実現を目指します。

具体的施策	内容
定期的な見直し・改訂	プランの内容については、社会的、経済的な変化に伴い定期的な見直し、改訂を行います。
情報の収集・発信の充実	男女共同参画社会の実現に関する情報の収集や研究などを行い、その成果を町民に情報提供していきます。